

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和元年 6月 日

島根県知事 殿



提出者

住所 島根県松江市殿町516番地
氏名 株式会社 鴻池組 山陰支店
執行役員支店長 井戸内 義文
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号：0852-22-1551

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 鴻池組 山陰支店
事業場の所在地	島根県松江市殿町516番
計画期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	6,762百万円(2018年9月期)
③従業員数	45名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事事務所ごとに産業廃棄物処理委託契約書を収集運搬業者・廃棄物処理業者(中間・最終)業者と各々締結し、産業廃棄物の種類ごとにマニフェストを発行し、処理を委託する。委託した産業廃棄物は、中間処理施設を経てリサイクルまたは最終処分が行われる。中間処理施設と最終処分場との委託契約及びマニフェストの発票は、中間処理業者が行う。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	排出量	124.13 t	493 t
	(これまでに実施した取組) ・省梱包、無梱包化を図る。 ・再利用可能な梱包材を使用させる。 ・工事事務所での加工を減らし、工場で加工させ、端材の発生を抑制する。 ・工法等を検討し、極力廃棄物が発生しない工法の採用を施主に提案する。 ・型枠の転用率を向上させ、発生を抑制する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	排出量	110.00 t	443 t
	(今後実施する予定の取組) 教育を実施し、継続的改善を行う。 教育名称 実施時期(予定) 階層別職員集合教育 毎年2月～4月 工事事務所長会議 毎月1回 新規入場者教育 随時 定例打合会 適宜 安全大会 毎月1回		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 「別紙 ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程」参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程・工種に合った分別を実施する。 ・職長会を中心とした、作業員の自主管理体制を強化する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
排 出 量	129 t	256.97 t	17.69 t	33.08 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
排 出 量	● 115 t	● 231.00 t	● 16.00 t	● 30.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
排 出 量	58.39 t	85.18 t	10.88 t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
排 出 量	52.00 t	76.00 t	9.00 t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成30年度）実績】				
産業廃棄物の種類			-	-
排出量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類			-	-
排出量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・予定していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・予定していない。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・予定していない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	全処理委託量	124.13 t	493 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	34 t
	再生利用業者への 処理委託量	124.13 t	458 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 1) 業者の選定 ・東京本店安全環境部で審査した業者を使用している。 ・安全環境部長への上申による承認業者を使用している。 2) 処理能力及び許可品目の確認 ・許可書及び現地視察による確認をしている。 3) 委託契約書 ・建設九団体作成の建設廃棄物処理委託契約書を使用している。 ・二者契約を実施している。 ・工事事務所長が契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
全処理委託量	129 t	256.97 t	17.69 t	33.08 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	48.72 t	8.62 t	17.24 t
再生利用業者への 処理委託量	129 t	208.25 t	9.07 t	15.84 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
全処理委託量	58.39 t	85.18 t	10.88 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	15.11 t	30.06 t	8.17 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	43.28 t	54.58 t	2.71 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類			-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類			-	-
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】		
産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
全処理委託量	110.00 t	443 t
優良認定処理業者への処理委託量	50.00 t	75 t
再生利用業者への処理委託量	60.00 t	368 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)		
②計画	廃棄物の事業場内保管状況について <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物ごとのボックスを設置 ・風等により飛散しないようにブルーシート等で保護 	
	廃棄物の委託処理に関する事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 業者の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・東京本店安全環境部で審査した業者を使用 2) 処理能力及び許可品目の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・許可書及び現地視察による確認 3) 委託契約書 <ul style="list-style-type: none"> ・建設九団体作成の建設廃棄物処理委託契約書を使用 	
処理の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストの普及に努める 		
※事務処理欄		

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類
全処理委託量	115 t	231.00 t	16.00 t	30.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	30 t	50.00 t	10.00 t	20.00 t
再生利用業者への 処理委託量	85 t	181.00 t	6.00 t	10.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物	紙くず	
全処理委託量	52.00 t	76.00 t	9.00 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	25.00 t	30.00 t	8.00 t	- t
再生利用業者への処理委託量	27.00 t	46.00 t	1.00 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請元工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

管 理 体 制

